

の査察、デポックにおいて社内への査察が行われた。入管法では外国人はパスポート及び/またはKITASの携行が必要であるとする入国管理総局長見解をジャカルタ・ジャパン・クラブ

(J J C) のHPにも掲載しているのでご確認願いたい。また、滞在許可 (K I T A S) 及び就労許可 (I M T A) の記載事項の変更等は速やかに行っていただきたい。

(4) 12月に改めて注意喚起メールを発出する予定であるが、年末年始にかけて犯罪が増加する傾向がある。インドネシア警察も犯罪取り締まり強化期間に指定しており、一層の注意をお願いしたい。

(5) 領事サービスアンケートに関する領事メールを発出させていただいた。忌憚のないご意見をいただきたいのでご協力をお願いしたい。

5 最近の医療事情等

(1) ワクチンは全体的に在庫不足のため、在庫数を各医療機関で事前に確認してほしい。インフルエンザワクチンは、南半球型3価・4価ワクチンが入荷したが在庫数が限られているため希望者は早目に接種すべき。腸チフスワクチンも入荷されたところであり必要な方は接種していただきたい。報道にもなっているデング熱ワクチンについて、インドネシアにおいては、児童対象のものしか認可しておらず長期的効果も不明な上、3回接種で400万ルピアと高価であるため、未だ邦人に接種を奨励する状態にはない。

(2) インドネシアは新規の結核患者数が年間100万人を超えており世界第二位の高蔓延国である。日本人はBCG等の予防接種により免疫を得ているが、結核患者と日常的に同じ空間にいた場合感染する可能性があるので注意をお願いしたい。

6 質疑応答、各社(団体)からの報告等

(報告)

先月、工業地帯のオフィスに入国管理局による査察があり、従業員1名の旅券が押収された。旅券は後日返却されたため問題は解決したが、今回の査察では査察官がオフィスに入室後すぐに写真撮影を行い、従業員が逃亡しないように対策を練る等より徹底した手法がとられていた。

(報告)

4日の大規模デモの際にもインドネシア中央銀行(同行前はデモに参加した人であふれかえっていた。)は決済業務を続行しているため、同行の従業員が中央銀行に出向く必要があった。今回は大使館からの注意喚起を基にデモ開始前に業務を完了したため業務に大きな支障は出なかったが、今後はデモが発生している現場付近に近付かざるを得ない状況も発生すると思われる。

(報告)

同社が出資・運営する工業団地に2件の入国管理局による査察が入った。1件目は、10月20日に工業団地内にあるアパートに3班約30名の査察官が訪れ、入居者約70名が査察の対象となった。うち8名が別室での事情聴取を受け、申請の不備に関する指導を受けたが、一時的に没収された旅券は翌日に返却され、特段大きな問題はなかった。2件目は、10月24日から11月4日の2週間にわたり、工業団地に入居する企業数社のオフィスに査察が入り、うち数社が手続きの不備の指摘を受けたが、後日速やかに対応するよう指導を受けたのみで大きな問題はなかった。今回の査察の特徴は、①査察の事前通達があったこと、②指導のみであり金銭の請求等の不当な要求がなく、企業側の不備を是正する目的の指導的査察であり、ある

意味前向きに評価できるものであったことである。

(報告) JJS

(1) 4日は大規模デモのために大使館からの指導も踏まえ臨時休校の措置をとった。振替授業等を実施する予定はない。

(2) 10月に小学6年生がバンドンへ、中学2年生がバリへ修学旅行を行った。特段トラブルはなく無事に終了した。

(3) 10月31日に不審者侵入対応のための避難訓練を実施した。子どもたちは冷静に対処しており有意義な訓練を実施できた。

(報告) JJC

4日の大規模デモは当日まで流動的で、会員企業からのデモに関する照会に対して適切に回答するのは難しかった。

JJC自体は事務所をオープンしていたが、デモ隊の人数が増え道路の混雑が予想されたため、混乱を防ぐために早めに窓口業務を終了した。

(報告)

今月24日に再度大規模デモが行われると耳にしたが、本当か。(当館より、現時点では把握しておらず、今後フォローする旨応答。)

次回の邦人安全対策連絡協議会は12月13日(火)午前11時から